

# 日刊 動労千葉

86. 6. 18  
No. 2269

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五六・（公衆）〇四七二二七二〇七

## 報告 オルグ上映 広島 心はすぐに合う 働く者

（全国オルグ生）  
（津田沼）



写真は予想を越える大結集のもと成功かちとった6月14日・横浜上映会

「分会の数だけポスターを下さい」と大歓迎  
動労千葉の第一波・第二波闘争の記録映画「俺たちは鉄路に生きる」の中国地方での公開第一弾として、このたび広島上映会Ⅱ六月二十九日（日）正午、広島市・みゆき会館、が設定されました。広島上映会成功にむけて六月二日より六月八日の一週間にわたり、広島県下の県労会議傘下の公労協、公務員、民間の各労組関係五二カ所に協力要請を行ってきました。特に国鉄職場においては反応がよく積極的にビラ・ポスターなどを受け取り、ある支部では「分会にくばりますので分会数の数だけビラ・チラシ・物販の資料を

下さい」と言われたり、また帰り際には「頑張つて下さい」と激励されました。  
二日、十六時半に広島に到着後、直ちに広島大生協、国鉄関係労組機関、佐伯地区の教職員の方にあいさつと協力要請を行いました。翌日、廣大生協の執行委員会でもお願いし、生協の機関誌「呐喊」で紹介をしていただきました。

### 嬉しかった職場でガンバル仲間との交流

三日からの職場オルグでは、県労会議の議長が、今度の国政選挙に出るために要請ができなかったが、公労協、公務員、民間の中心的な職場を網羅するかどうかで廻わり、各級機関の一定の統制のなかで直接或いは間接的なつながりを最大限活用し、各職場に要請行動をおこなってきました。一週間という限られた日程でありましたが、ほぼ目標を達成することができました。

造船三菱広機分会は、会社側の組合つぶしのなかで数人で組合事務所を確保し闘い続けており、上映会の参加と動労千葉支援を約束してくれました。また、国鉄のある支部では、日刊動労千葉の機関誌がファイルにきちんととじてあるところもありました。限られた日程のなかでは、労組への要請も一定の制約もありましたが、非常にいい感触をうけました。

職場まわりで嬉しかったことは、全通をたずねた時でした。その分会では郵政合理化のために、丁度この十月で廃止されてしまうというので、分会長は「廃止問題のことでテンヤワンヤですよ」と言われたが「勤務の都合上なかなか組合員と連絡がとれにくい、何人か若い人を出しましょう」と快くチケット一枚現金で引き受けてくれたことでした。そして、民間の厳しさのなかで少数で頑張っている全

広島入りして特に目を引いたことは、広島大学キャンパスに「俺たちは鉄路に生きる」上映呼びかけのたて看板が出されていたことでした。高さ五メートル位の大きなたて看板であり、キャンパス入口正面に堂々と出されており、さらに門前には三里塚空港反対同盟・秋葉義光氏来広の看板も出されており、広島大は、さしづめ動労千葉と三里塚空港反対同盟を歓迎しているようでした。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！

制作上映委員会・全国オルグ団、津田沼支部S生（寄稿）